

岩手大学 リカレント教育プログラム

令和5年度 経腔採卵-体外牛胚生産技術研修（産業応用編）

1. 目 的：

昨今の世界的経済情勢や肥料・飼料高騰、牛生体販売額の低迷で存亡の危機にある畜産農家からのニーズが急速に高まっている経腔採卵-体外牛胚生産（OPU-IVP）を実施し得る技術者を養成する。

本講座は、企業や開業獣医院、農業共済組合、農協などに勤務する産業動物獣医師や畜産技術者が大学で新たな技術を習得することで自らの能力の向上を図ると共に、当該技術により地域の畜産農家を応援することを目的とする。加えて、人工授精技術の学び直し、向上を目指す畜産技術者も対象とする。

2. 主 催：岩手大学

3. 定 員：各回2名程度

4. 受講料：10万円程度（プログラム内容によって変更。別途、宿泊費、食費等を負担していただく場合がある）

5. 対象者：産業動物獣医師、畜産技術者等

6. 会 場：岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター御明神牧場 〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野

7. 研修担当者：平田統一 准教授（御明神牧場）

〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野

Mail：hirata@iwate-u.ac.jp、Tel：019-692-3031、Fax：019-691-1016

8. 実施形式：宿泊を伴う講義と実習

実施時期、期間、宿泊の有無、研修内容等は、事前に十分調整し、受講者のニーズによって完全オーダーメイド制で構築する。

日帰りでの OPU-IVP 技術の見学等は本プログラムとは別途に日時を決めて実施する

【2022 年度実施例の一部】

- ・農業共済の獣医師に対して、12 日間の研修期間の間に 5 回の OPU-IVP、3 回の食肉処理場卵巣由来 IVP を行って技術習得を図る。

- ・獣医医院の牛胚培養担当者に対して、13 日間の研修期間の間に 5 回の食肉処理場卵巣由来 IVP、1 回の OPU-IVP を行って技術習得を図る。
- ・大型酪農の新任人工授精担当者に対し、34 日間の研修期間の間に頻繁に直腸検査を訓練し、10 頭程度の人工授精を行って技術習得を図る。

9. 申込方法

受講申込書に必要事項を記載の上、E-mail または郵送、もしくはホームページ (https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community_news/5499/) の申込フォームから随時お申し込みください。

※ 本研修は少数、長期のプログラムになるため、申込が多かった場合には受講希望期日通りに受入ができない場合があります。

※ 実施時期、期間、宿泊の有無、研修内容等は、研修担当者(平田、hirata@iwate-u.ac.jp)と十分打ち合わせること。

お問合せ・お申込み

岩手大学地域社会教育推進室(岩手大学研究・地域連携部 研究・地域連携課内)

TEL : 019-621-6492 E-mail : pedagpgy@iwate-u.ac.jp

〒020-8551 岩手県盛岡市上田 4 丁目 3 番 5 号

参考：受講申込書 一部抜粋

氏 名	所属／職名		生年月日
ふりがな			年 月 日
住 所	連絡先		
〒	TEL E-mail		

※個人情報とは当講座の運営のみに利用いたします。

ただし、保健所等からの要請があった場合は提供することもございますので予めご了承ください。

応募した動機、本講座で学びたいこと、期待していることをご記入ください。